

JA いしかり



2P - 3P

直売所出荷者協議会道外視察

8P

連載

“還暦おやじ”の新人農業者手帳

平成27年度新規就農者 ゆりき ひろふみ **遊佐宏文さん**

2018

4月号

Vol.349

直売所出荷者協議会道外視察

3月13日、16日、名古屋、静岡方面に直売所出荷者協議会の会員13名と事務局2名が視察を行いました。農産物直売所4店舗を訪れ、温暖な気候条件下での出荷物の内容や店舗担当者の話に参加者も深く関心した様子でした。



【JA あいち三河幸田惣の農園】

愛知県のほぼ中央、幸田町で昭和51年より営業を続ける幸田惣の農園は売り場面積約3,075㎡、販売高は約17億円に達する大型店舗で、訪問時は平日の午後にも関わらず沢山の買い物客で賑わっていました。人気を集める米、花卉に力を入れておりそれぞれ売場を大きく取っていました。特に鉢物や苗物などの花卉類の売場は店舗の大きな中庭部分にビニール天井を掛けた温室になっていて900㎡もある売場には所せましと出荷物が並べられています。「苦労するのは広い売り場を埋める為の商品集め」と永井店長がおっしゃるよう到来店人数も多いことから会員数500名でも時期によっては足りない品目が発生してしまうとのことでした。



JA あいち三河 幸田惣の農園

所在地：愛知県額田郡幸田町大字
大草字上六條22番地1
営業開始：昭和51年3月
売場面積：約3,075㎡
会員数：約500名
直近売上高：約17億円



【JA とびあ浜松ファーマーズマーケット】

静岡県最西部に位置する農産物直売所。気候は非常に温暖で年中通して野菜、果物の出荷が有り、訪問時はイチゴとミカンが大量に出荷されていました。

品質管理は特に徹底され、夕方18時の営業終了後は必ず商品棚を空にするという取り組みが実施されており、出荷者は売れ残り商品の葉菜、根菜間わず全てを引き下げ、常に新鮮なものを売り場に配置することで着実にお客様の信頼を獲得し、昨年初めて売上高10億円を達成されたそうです。



JA とびあ浜松 ファーマーズマーケット 三方原店

所在地：静岡県浜松市北区
根洗町1213-1
営業開始：平成17年
売場面積：570㎡
会員数：約930名
直近売上高：約10億円





「JA富士宮ファーマーズマーケット う宮〜な」
 静岡県の富士山麓で営業する農産物直売所「う宮〜な」。特徴的な店名は富士宮地方の方言「うみやうな（おいしいね）」を元にされているそうです。こちらの地方も非常に温暖な土地柄で年中通して野菜、果物の出荷が多い直売所です。女性部専用の加工場が併設されており、地元食材を活かした惣菜が人気を集めています。又、昨年放映された人気テレビ番組「鉄腕DASH」で紹介され落花生ソフトクリームが人気となった他、B級グルメコンテストで一躍有名になった「富士宮焼きそば」が週末店外テナントで販売されていてこちらも集客に繋がっているようです。



**JA富士宮
ファーマーズマーケットう宮〜な**

所在地：静岡県富士宮市外神123
 売場面積：608㎡
 会員数：450名
 直近売上高：約10億5千万円



「JAあぐりタウン げんきの郷」
 最終日に立ち寄ったのは、JA名古屋の子会社が運営する複合施設「げんきの郷」です。農畜産物直売所はもちろん、惣菜、パン、お土産を扱う店舗がそれぞれ1棟ずつ有る他、市民農園や水田、温泉施設も擁する一大テーマパークです。直売店舗も規模が非常に大きくほぼ全ての野菜が取り揃えられています。又、花卉は別棟で売場を設けレジ3台がフル稼働する盛況ぶりでした。



**JAあぐりタウン
げんきの郷**

所在地：愛知県大府市吉田町
 正右エ門新田1-1
 営業開始：平成12年
 会員数：約630名



まとめ

4日間の視察を終えた参加者は一様に「今回視察先で学んだ取り組みや出荷物を参考に夏営業に向けてとれのさとを盛り上げて行きたい。」と意気込んでいました。

平成29年度 生産組織通常総会開催される!!

そ菜9部会合同通常総会



2月19日、平成29年度そ菜9部会合同の通常総会が開催されました。

総会の開催にあたり9部会を代表して、さやえんどう部会の蓮田貢一部会長の挨拶の後、議長に竹永浩士さんが選任され議事が進められました。議事は全て原案通り可決・承認されましたが、会員からは部会活動に対する様々な意見や要望が出されました。

また合同総会終了後には、株式会社札幌市中央卸売市場食品衛生検査センターの京田課長補佐を講師に招き、有害微生物リスク管理強化対策の講習会が開かれ、生産に使用する器具・機械の洗浄や作業時の手袋の徹底と手洗いの重要性と衛生管理の大切さについて説明して頂きました。また、出席者は正しい手の洗い方を実際に体験し、大変有意義な講習会となりました。

高岡施設園芸生産組合通常総会



2月27日、平成29年度高岡施設園芸生産組合の通常総会が開催されました。

総会の開催にあたり、藤岡浩晃組合長の挨拶の後、議事が進められ提出された議案は原案通り可決・承認され、会員からは部会活動について沢山の意見が出されました。

また、総会終了後には、(株)ヨコビの嶋山部長補・浅井課長よりミニトマト栽培に係わる最新資料を使用した技術などについて紹介して頂き、会員から活発な質問があり、さらなる技術向上への意欲が湧く機会となりました。今年度も先進地等へ視察研修を行い栽培技術の向上を図る計画となっています。

JAグループ ～新車大商談会開催～



2月24日～25日、JAオート道央のホクレンオート札幌特設会場でJAグループによる新車大商談会が行われました。

これは、新車購入を検討している組合員へのキャンペーン促進イベントで、各JAの担当者が新車購入の検討をしている組合員へ販売営業し、その場でディーラーに値引き交渉等をしながら成約に繋がっています。イベント期間中の特典として来場者に「肉まん」の無料配布があり、寒い中ではありましたがご家族で肉まんとを美味しく食べて喜んで頂きました。

直売所出荷者協議会

～ 通常総会及び講習会開催～



3月7日、本店大会議室で直売所出荷者協議会通常総会が44名の会員が出席のもと行われました。大村喜紀会長の開会挨拶に始まり、議長に赤山義孝さんが選任され、提出議案について審議され全議案が承認されました。

出荷者表彰では、「売上いっぱいあったで賞」に前田まさ子さん、「売上いっぱい増えたで賞」に遊佐宏文さん、「休まず出荷頑張ったで賞」に六川正輝さん、「お客様に喜ばれたで賞」に加藤英道さんがそれぞれ選ばれました。

総会終了後には、石狩NOSAによる収入保険制度の説明会を行い、午後からはホクレン札幌支所生産資材課水田卓志氏による農薬肥料の講習会を開催し、長丁場ではありましたが参加した会員は非常に熱心に聴き入り、今年も地物市場とれのさとに会員が心を込めて作った商品が豊富に並ぶことが期待されます。

また、任期満了に伴う役員改選は下記の通りです。



会 長	前田まさ子 (石狩班)	委 員	草間 満 (生振班)
副会長	加藤 英道 (花咲班)	会 計	杉中真由美 (花咲班)
副会長	加藤 礼子 (生振班)	監 事	伊藤慧津子 (花咲班)
委 員	関戸 幹雄 (生振班)	監 事	竹内 巖 (石狩班)
委 員	右近 豊子 (石狩班)		敬称略

資材課 ～ 肥料・農薬・温床資材推進～



2月26日～28日、肥料・農薬・温床資材推進を行いました。

メインは水稲除草剤の推進で、組合員さんが困っている雑草の調査と、それらに効果がある除草剤の説明を行いました。またそれぞれに相性の良い農薬の紹介も行いました。今回の聞き取り調査で、地区や土地、組合員ごとに困っている雑草が違うことが改めて浮き彫りになりました。農薬を使い効果を出すには天候、土壌状態（粘土、砂地等）など様々な条件が必要となり、農薬の成分を明確化することでより良い効果が得られる農薬の紹介をすることができた3日間となりました。

～元気いっぱい☆若さ溢れる☆生振地区交流の集いにお邪魔しましたあ～



3月15日、生振ふれあい研修センターで生振連合町内会主催の生振交流の集いが開催されるということで早速取材させていただきました。昼食を含め7時間にわたって延べ21名の皆さんが参加して思い思いのコーナーを楽しみながら交流を図っていました。スリーAというゲートボールに似た室内競技や卓球で身体を動かし、将棋・囲碁・麻雀で頭を使い、カラオケで喉を鳴らし、至るところで笑顔と笑い声が弾け、見ている人もワクワクするような時間が流れていました。

年に数回のイベントとあって非常に和やかなムードの中、足の不自由な方には思いやり満点の送迎付きで、麻雀会場にもカラオケの歌声が心地良いバックミュージックのように聞こえるなど随所に居心地の良さが感じられました。

中には、本当は身体の調子がイマイチだったので今回は遠慮しようかと思ったが声を掛けてくれたのが嬉しくて来たという方やここに来るだけで元気になるという方もいました。

急な取材にも関わらず話題のもくもくタイムにも混ぜていただき、アットホームな雰囲気ですつつい長居したくなってしまった会でした。集まるメンバーがなかなか増えないのが悩みとのことでしたが、体力づくりと頭の健康が目的という素晴らしいイベントなので地域活性化のためにも是非今後も継続して頂きたいと思いました。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

今月の表紙紹介

～撮影オフショット～

今月の表紙は、長芋部会の部会長の宮北義雄さんご夫妻です。平成29年産秋掘り長芋は、量は多かったものの形が悪く引き抜き作業にも大変手間が掛かりました。



▲今年結婚48年目のお二人はいつも笑顔で会話が絶えないのだそう。愛が溢れちゃってますよ～♡



▲出稼ぎに来ていた貞子(ていこ)さん、5年間の大恋愛の末に猛反対だった秋田の親御さんを説得して昭和46年にゴールイン。



▲取材中も笑いが絶えず、この写真を見ているだけでこちらも顔がほころんでしまいます。



▲長芋もゴボウも最初は管理にとっても苦労したそう。今では冬場も冷えすぎない工夫をして上手に保存しています。



▲毎年人気の石狩ブランドの長芋も春掘りは4月初旬から始まり順に出荷予定です。

営農部よりお知らせ

3月26日より、営農課及び石狩市農業総合支援センターが営農経済事務所へ、青果課及び米麦課が本店事務所正面入り口右側の事務所へ移転しましたのでお知らせ致します。

営農課連絡先	TEL : 0133-66-3344 (変更ありません) FAX : 0133-66-3663 (変更)
支援センター直通	TEL : 0133-66-3345 (変更ありません) FAX : 0133-66-3335 (変更ありません)
青果課・米麦課直通	TEL : 0133-66-3344 (変更ありません) FAX : 0133-66-3131 (変更)

資材課 営業時間 について

	平日	土曜日	祝祭日	日曜日
4月14日～ 5月31日	8時30分～ 17時00分			休 み
6月1日～ 9月30日	8時30分～ 17時00分	8時30分～ 12時00分		休 み
10月1日以降	8時30分～ 17時00分		休 み	

※ゴールデンウィークも営業しています。(日曜日を除く)

※7月以降の土曜日・祝祭日についての配達は出来かねますので何卒ご了承下さい。

花畔支店ATM 土曜日休業のお知らせ

花畔支店ATMの営業時間が5月より次のように変更になります。

平 日	8時45分～18時00分
土曜日	休 み
日曜日	休 み
祝祭日	休 み

※土曜日が休みにになります。

土曜日については手数料無料のコンビニATM(9時～14時まで)をご利用下さい。

ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

職員の動き



〈退 職〉
平成30年3月31日付
金融共済部
金融課融資相談係
門脇 謙太

この度、一身上の都合により、3月31日をもって退職いたしました。みなさまにはご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。

入組して19年間、在職中は多くの方々からのご指導と支えをいただき本当に感謝しております。

今後は歩む道は変わりますが、これまでの経験をもとに私なりに努力してまいりたいと思っております。

これまで本当にお世話になりました。今後の皆様のご活躍をお祈りいたします。

人事異動のお知らせ

3月12日付人事異動
金融共済部金融課融資相談係
西塔 謙太郎
(前 営農部営農課営農係)

お く や み

生振地区 生振第3
吉田 敏春 さん
享年87歳
平成30年2月25日逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。

還暦おやじの
新人農業者手帳



遊佐宏文

中野市 農業者

平成27年度新規就農者



一、大地と太陽の恵みを
あなたに届けたい

四月は待ちに待った日照の月。雪解けとともに柔らかい日光が肌に心地よい季節です。

しかし、世界的にみると四月が決して心地よい季節ではないという国々も少なからずあります。日本初のPKO（国連平和維持活動）で、私自身も派遣されたカンボジアでは四月が猛暑季であり、日中の気温が五十度に達したこともありました。昼間に外を歩く人間はバカだと言われていました。そんな中、道路工事や橋の補修をしていた自衛隊員はきつとバカに見えていたのかもしれませんが。

また、家族と共に三年間勤務したミャンマーでも四月は同じ猛暑季で、あまりの暑さを避けるため、いえない、一瞬忘れるために互いに水を掛け合う「水祭り」なる伝統行事がありました。ミャンマー最北端のカチン州であってもその冬の間が日本の夏と同じくらいの気温であり、四月が待ち遠しい月ではないのです。



▶ミャンマー連邦カチン族の女性たちと



▶生き字引・下野トミヨさん（左）と妻（右）

さて、花畔のこと。私のお隣の畑では、大先輩の下野トミヨさんがお元気に数多くの野菜を栽培しておられます。いつもトマトの種を播いたかい？ キュウリも播き時だよ!! と心配してくださいませ。時々、妻が私の疑問を下野さんに聞きに行ってくれるのですが、その中でなるほどと思ったことがあります。それは「農家はねえ、毎年一年生なんだよ。毎年天気も畑もタネも違ってくるからねえ...」貴重なアドバイスはもとより農家魂と元気をいただいています。

さあ、いよいよ日本の食糧庫北海道の四月。待ちに待った日照の下、さまざまの農作業がはじまります。今年も北海道の大地と太陽の恵みであるミネラル豊富な野菜を皆様に届けるべく、「一年生」のつもりで頑張ります。

二、野菜ソムリエの妻から
ひと言

私が農業者となるに合わせ、妻はジュニア野菜ソムリエの資格を取りました。野菜を生産するにあたり、どのように食べるのかを承知しておくべきと思ったのです。私自身の苦手意識もあって妻にその役割を担ってもらうことにしました。妻は試験を受けることに相対抗があつたようですが、受験勉強だけは一緒にして、なんとか合格してくれました。

そんな妻の一言は「ある時はほかむりで収穫作業、ある時はホテルでディナーを楽しむかっこいい女性農業者でありたい。」です。単に生産するだけでなく、生産した野菜がどのように流通し、料理され皆さんの口に入るのかを常々意識していきたいと思えます。

昨年末、NHKの番組で、長年素麺作りに関わるご夫婦が紹介されました。その中で、早朝に起きて素麺を作る二人が一言も発せずテキパキと数時間にわたり作業を続ける姿に、ナレーターが語った一言が「繰り返すことがやがて使命になる。」でした。

野菜作りの作業ひとつずつがやがて使命になるように、ふたりで力を合わせ生産入魂したいと思います。（了）

（平成三十年三月五日記）